

令和3年度 第1回 帯広市行財政改革推進委員会 議事要旨

日時：令和3年10月11日（月）午後3時～午後4時

場所：帯広市役所 10階 第2会議室

出席委員

岩本博幸委員長、岩崎優子委員（委員長職務代理者）、河西智子委員、久門修委員、坪沙代委員、三品幸広委員

事務局

総務部 組織人事室 人事課

河原職員監、天池人事課長、藤芳行政改革主幹、千葉人事・行革係長、東主任補

傍聴者等

報道関係者2名

会議次第

1 開会

2 交代職員紹介

3 本委員会について

4 議題

（1）帯広市行財政改革計画の取組状況について

（2）その他

5 閉会

議事概要

発言者	時程	内容
事務局	15:00	これより、令和3年度 第1回 帯広市行財政改革推進委員会を開催する。 本日、委員6名中、6名の出席をいただいているため、帯広市行財政改革推進委員会設置要綱第7条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。 (事務局挨拶、資料確認、事務局交代職員紹介) 次に、本委員会の概要について、ご説明する。 (資料1に基づき、本委員会の概要について説明)
委員長		今後の議事については、設置要綱第6条第2項の規定により、委員長が議長を務めることとされていることから、岩本委員長より、進行をお願いします。 (委員長から挨拶)

<p>事務局</p>	<p>議題(1) 15:10</p>	<p>はじめに、(1)「帯広市行財政改革計画の取組状況について」を議題とする。 事務局から説明されたい。 (資料2に基づき、令和2年度における取組状況の概略について説明)</p> <p>続いて、具体的な取組項目及び主な成果等について、ご説明させていただく。 (資料3に基づき、具体的な取組項目及び主な成果等について説明)</p> <p>説明は以上である。 委員の皆様には、計画の進捗及び成果について、忌憚のないご意見を頂戴いただければと考えている。</p> <p>(質疑応答)</p>
<p>委員 事務局</p>		<p>R2に「税金が有効に使われている」と回答したのは4人に1人。このデータを分析することで見えてきたことはあるか。</p> <p>「有効に使われていない」と回答した方の理由を見ると、「どう使われているかわからない」という意見が多く、有効に使われているかどうかかわからないため、ネガティブな回答を選択されたケースが多かった。市民に対する情報の出し方にも工夫が必要と考えている。</p>
<p>委員 事務局</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の状況はあまり変わっていないと考えるが、R2年度に比べて、R3年度の現時点までの時間外勤務の状況はどのようになっているのか。</p> <p>8月までの集計結果で比較をしているが、数値としては若干減ってはいるものの、現時点ではさほど変わっていない。</p>
<p>委員 事務局</p>		<p>時間外勤務は毎月人事課で集計するのか。時間外勤務が多い部署には状況確認はしているのか。</p> <p>毎月集計をし、時間外勤務が多い部署には状況の確認をしている。</p>
<p>委員長 事務局</p>		<p>資料2のアンケート結果は、オンライン化した市民アンケートの結果か。オンライン化することで、回答数などに何か変化はあったか。</p> <p>オンラインでの回答も可能にした市民アンケートの結果となっている。内訳を見ると、若年層においてオンラインによる回答割合が高かったほか、総回答数も若干増加した。</p>
<p>委員長 委員</p>		<p>国勢調査もオンラインで回答できて便利になったという声があった。こういった動きを是非続けてほしい。</p> <p>指標1の「有効に税金が使われていると思う市民の割合」については、全員に波及する税金の使い方をしている事業ならいいが、そうではない事業もちろんある。その中で、この指標を行財政改革の取組の評価指標とするのは無理があるのではないか。</p>

事務局	確かに、本計画の各施策を進めたからといって直接的に評価が上がるとは限らない指標になっているという認識はある。情報の伝わり方で市政に対する市民の評価も変わる。市民に的確に情報を伝えることも重要と考えている。
委員長	計画の指標のため変更はできないので、他に活かせるような質問を市民アンケートに加えることぐらいしかできない。行財政改革に関しては、報道で「削る」部分が表に出やすく、市民にとってはあまり良い印象を抱かれないことが多いが、キャッシュレスや保育所民間移管等、いわゆる「メリット」をもっと前面に出しても良いのではないか。その方が市民にも市の動きが伝わりやすい。
委員	指標2「月間の時間外勤務時間が45時間を超えた職員の数」で、人数は増えたが総時間が減った件について、つまり忙しい人と忙しくない人の差が広がったとも取れるが、その点はいかがか。
事務局	そういった状況が生じているケースもあれば、たとえば令和2年度の機構改革における課の統合等により、忙しい課の人員が増えた結果、時間外勤務が多い職員が増えているというケースもある。なお、時間外勤務については、本指標の他に、端末のログ状況等、あらゆる角度から状況を分析し、平準化を図っていく必要があると考えている。
委員	部署間での分析結果はどのようになっているのか。
事務局	令和2年度は機構改革があり、単純に前年度との比較ができない部署があるため、詳しく分析できないのが実情。例えば、1人で100時間していた時間外勤務を、50時間ずつ2人に分けて平準化できたとしても、指標上は改善していないことになってしまう。内訳をさらに細かく見ていく必要がある。
委員	ベテランと新人等、立場よっての時間外勤務の差も見えていく必要があると考える。
委員	指標2の対象者に、管理職は含まれているのか。また、管理職の割合は職員の何割か。
事務局	管理職は含まれていない。管理職は全職員の2割程度となっている。
委員	それであれば、管理職に仕事を多く担ってもらえば指標の数値が軽減される。この計画で狙っていない動きが出てくる危険性がある。
事務局	そうならないように、指標2のみではなく、端末ログの状況等も見ながら業務の状況を確認していく必要があると考えている。
委員	ICTのテレワーク実施数はどうか。また、キャッシュレス決済の動きについてお聞きしたい。
事務局	テレワークの正確な実施数は把握していないが、そこまで多くないという実感がある。キャッシュレスについては、運用開始後の9月21日～30日の期間では、割合としては4.6%、208件の利用となっている。他の自治体では十数パーセントとなっているところもあることから、今後は利用が増えていくと考えている。その他、自宅で市税等の支払いを行えるよう準備を進めているところ。

委員長	<p>市税の支払いを自宅でもできるようになれば、外出が難しい方への対応にも資することから、ノーマライゼーションにもつながる。今後の動きに期待したい。</p>
委員	<p>取組項目 1-3「コミュニティ施設の管理運営手法の検証」について、先ほどの説明の中で分室機能の廃止検討が触れられていたが、それに並行してコミセン職員を減らしていくということか。</p>
事務局	<p>分室機能の廃止検討とコミュニティ施設の管理運営手法の見直しについては切り分けて考えている。分室機能については、コミセンでの利用が少なくなれば廃止も含めたあり方の検討を進めて行く必要があると考えている。管理運営手法の見直しについては、コミセンに管理人が住み込んでいる施設もあれば、コミセンの運営の一部を地域の人が担っている部分もある。管理運営の手法の見直しを検証するのが、取組項目 1-3 に当たる。</p>
委員	<p>1つのコミセンで大体どれぐらいの人員が必要となっているのか。</p>
事務局	<p>大体3～4人が必要。3～4人でシフトを組み、1人または2人が勤務している。昼間は分室業務と管理業務、夜間は管理業務となっている。</p>
委員	<p>電子申請について、R元年度に比べてR2年度が26,000件程増加したが、その内訳は。</p>
事務局	<p>電子申請手続きには、住民向けだけではなく、職員向けも含まれている。庁内での手続きの電子化が進んでいるという要素がひとつと、昨年度はコロナ関係等の臨時的なアンケートなどもあり、全体としての数が増えている。</p>
委員	<p>ICTはかなり前進している印象を受ける。ふるさと納税も大幅に増加し、素晴らしい成果であると思う。</p>
委員長	<p>今後の取組として、行財政改革に直接つながるかはわからないが、脱炭素化の取組についても検討していただきたいと考えている。マイボトルや電気のLED化など、市で取り組める事柄も色々あると思うので、環境モデル都市として、脱炭素化の取組も何らかの形で行財政改革に組み込んでほしい。</p>
委員長	<p>環境問題は、働き方に影響する部分がある。行財政改革に基づく持続可能な自治体経営は、先ほどのノーマライゼーションの話も含め、SDGsという観点でも関連性は強いので、一つの視点として取り組んでほしい。また、ふるさと納税については、自主財源の確保のほか、関係人口を増やしていくことにもつながる。帯広市のファンを増やし、来帯者や人口の増加につながればいいと考える。</p>
委員長	<p>他に意見等はないか。</p>
委員長	<p>(意見等なし)</p>
委員長	<p>意見がないようなので、この議題については、これで終了する。</p>
事務局	<p>議題(2) 最後に、(2)「その他」を議題とするが、事務局から説明をお願いします。 15:55 今後のスケジュールに関して、次回の委員会は、令和4年2月頃を想定してお</p>

<p>委員長</p>	<p>16:00</p>	<p>り、議題としては、今年度の総括と次年度の取組項目の検討がメインとなると考 えている。取組のアイデアなど、各委員から頂戴できれば幸いである。 ただいまの説明に対して、各委員から質疑や意見等はあるか。</p> <p>(意見等なし)</p> <p>本日は、各委員から、様々なご意見をいただいた。市の方で、しっかりと活用 し、今後のさらなる取組につなげていくようお願いしたい。</p> <p>以上をもって、本日の議事は全て終了する。</p> <p>(以上)</p>
------------	--------------	--